

八戸工業大学アセスメント・ポリシー

制定 平成 30 年 9 月 27 日 教授会

八戸工業大学は、学生の学修成果、教員の教育成果を可視化し、学生が修得した能力、教育課程の適切性、大学の教育力を評価し、教育改善を恒常的に実施する目的で、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つのポリシーに則した独自の評価指標に基づき、学生の学修成果を測定・評価することとする。測定・評価については、学生の入学時から卒業時までを視野に入れ、機関（大学）レベル、教育課程（学部・学科）レベル、科目（個々の授業）レベルの3つのレベルにおいて、多面的に行うこととし、その評価指標を、各時点・各レベルに対して次のように定める。

| レベル | | 入学時 | 在学中 | 卒業時 |
|--------------------|------|-------------------------------------|--|-------------------------------|
| 機関レベル (大学) | 直接指標 | ・各種入学試験 | ・休退学状況（休退学率） | ・卒業率 ・学位授与数 ・就職率 |
| | 間接指標 | ・入学時満足度調査（学生生活意識調査） | ・満足度調査（学生生活意識調査・満足度アンケート） ・学修習慣実態調査（学生生活意識調査） | ・卒業時満足度調査（満足度アンケート） |
| 教育課程レベル (学部・学科) | 直接指標 | ・各種入学試験 | ・GPA ・進級率 ・ラーニング・ポートフォリオ | ・GPA ・資格・免許取得状況 ・単位修得状況 |
| | 間接指標 | ・入学時満足度調査（学生生活意識調査） | ・達成度評価アンケート（20 修得因子） | ・卒業時満足度調査（満足度アンケート） |
| 科目レベル (個々の授業) | 直接指標 | ・開講試験（国語・英語・数学*・物理*・化学*） *：工学部のみ | ・成績評価（テスト、ルーブリック） | |
| | 間接指標 | | ・達成度評価アンケート（20 修得因子） ・授業評価アンケート（前後期） | |

【データの収集と分析、検証・改善等の実施体制】

上記データの収集、調査検討は、アドミッション・オフィス、学務部各委員会、IR 委員会が行う。各種調査結果は、アドミッション・オフィス、教育改革専門委員会、IR 委員会等が分析の上、入試委員会、教育改革委員会、自己点検・評価委員会等に報告され、検証が行われる。各学科・部署は、これらの調査、検証結果に基づいて、教育改善計画を策定し、教育改善を実施する。